

1. 授業の目的と概要

経済成長・経済発展は新しい技術が古い技術を置き換えていくことで進んでゆく。この過程でミクロレベルでの組織の再構成や労働者の再配分が必要だが、それによりマクロレベルで失業などの社会的摩擦が発生する。本授業ではこういった「リストラのマクロ経済学」の理論を学習する。

2. 学習の到達目標

リストラの経済的・社会的効果については、論客により多種多様なアドホックな議論がなされるが、授業を通じて理論的な考え方を習得してほしい。また、最新の失業・経済変動の理論論文を読む力をつけることも目標である。

3. 授業の内容・方法と進度予定

下記テキストに沿って授業を進める。最初はレクチャーを行い、その後は参加者の理解のため各自に報告を求める。内容は以下の通り

1. マクロレベルで見たリストラの実際
2. 基本モデル
3. 効率的なリストラ
4. 非効率的なリストラ
5. 金融市場におけるリストラ
6. 構造調整のモデル
7. 制度・利益集団が市場・技術に与える効果
8. ヨーロッパにおける失業

4. 成績評価方法

報告および平常の参加状況による

5. 教科書と参考書

Ricardo J. Caballero (2007) Specificity and the Macroeconomics of Restructuring, The MIT Press

6. 予習と復習について

報告担当者は十分な準備が求められる。

7. その他（使用言語、履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）

- ・ 言語：講義は日本語、報告は英語・日本語いずれでも可。尚、テキストは最先端の研究について平易な英文で書かれている。
- ・ 履修の条件：中級マクロ経済学・理論経済学Ⅱ特論を履修済み・同時履修しているか、同様の知識があることが望ましい。
- ・ 連絡先： horii@econ.jpn.org
- ・ ホームページ：www.econ.jpn.org/horii/
- ・ オフィスアワー：金曜 3 限(2 学期)、または e-mail 連絡により随時

